An underwater photograph of a coral reef, showing various types of coral and marine life in shades of blue, green, and brown. The text is overlaid on the left side of the image.

To increase youth
participation in
seaside
environmental
actives



小林 拓斗

- ☆ 日本大学
- ☆ 海洋生物資源科学科 2年
- ☆ 生物の化学物質
- ☆ 生物採取・標本づくり
- ☆ ダイビング
- ☆ 東京湾連絡網運営者副代表

What is Tokyo Bay Contact Network? TBCN



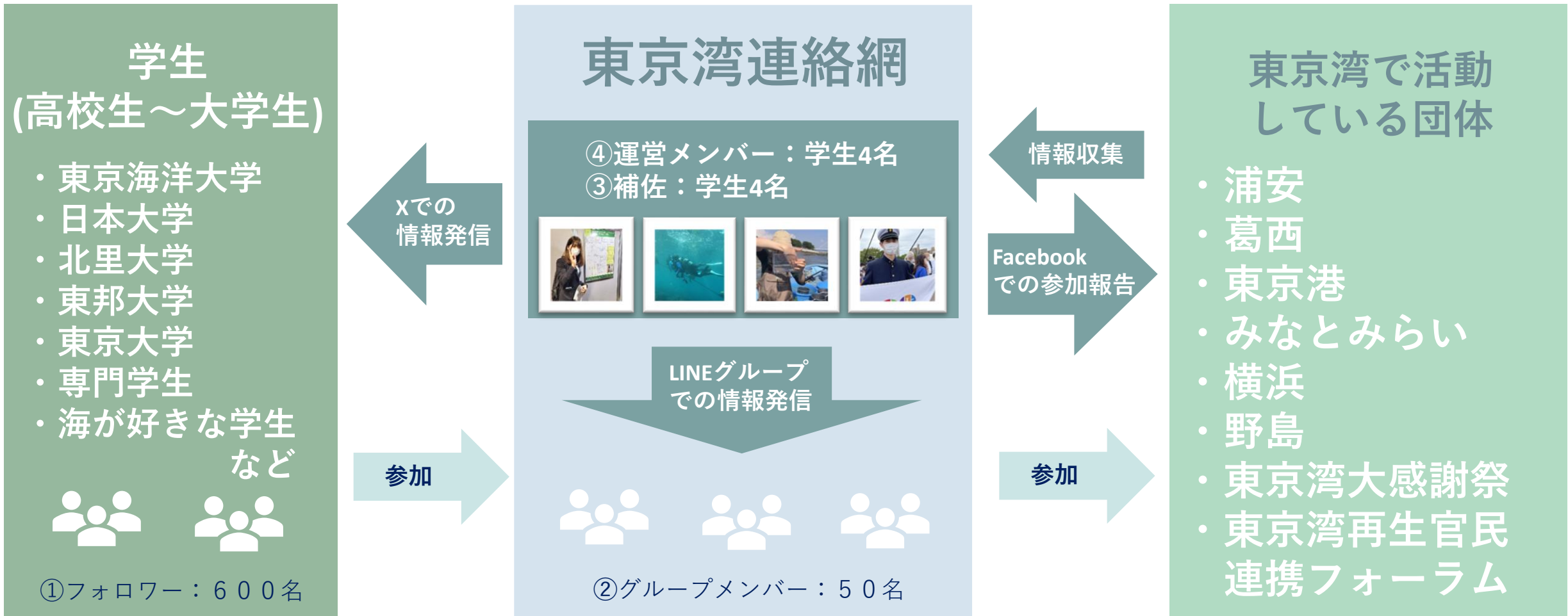
X: @Tokyobay101

Mail :tokyobayrenraku101@gmail.com

Facebook :116573511337574

東京湾連絡網とは

- ☆ 東京湾の環境再生活動
- ☆ 東京湾の環境調査活動
- ☆ 東京湾の環境教育活動
を行う学生の集まり



①Xフォロワーのできる活動

1. 環境活動への参加

※Xでは毎月1回、活動予定をポストしますが、活動名・活動日程以外の詳細情報はDMを送ってくださった方にのみ共有するので少し参加しづらいです。

※Xでの活動情報に関する発信は少なめです。

②LINEグループメンバーのできる活動

1. 環境活動への参加

※LINEグループでは定期的に流れる詳細情報を見ることが出来るため、活動に参加しやすくなります。

※LINEでの活動情報に関する発信は多めです。

※その他の海のイベント情報なども発信しています。

③ 運営補佐のできる活動

1. 環境活動への参加
2. 東京湾連絡網の広報活動
3. 独自の企画・運営サポート等

④運営者のできる活動

1. 参加する活動選び・企画・引率(参加)
1. 学生へ向けた活動の情報発信
3. 東京湾に関する独自のワークショップ・教材づくり
4. 東京湾や連絡網に関する公での発表



冬の海藻



環境教育



環境再生



環境調査

市民団体が若者の参加者を必要とする理由

- ・ 後世に団体や活動を継承していくため

よくある学生からの質問

「終了時間はいつか？」

「必要な持ち物や服装は何か？」

「活動場所における集合場所はどこか？」

➡ベテランメンバーが多いため、スタッフ向けの情報は省略されていることが多くビギナーメンバーが理解することは難しい。


⇒活動に慣れた東京湾連絡網の運営者が団体からの情報を具体化して有用な活動情報を共有する

東京湾連絡網の魅力

1. 学生個人ではできない体験
例) 定置網や地曳網を使った調査への参加
2. 現場の社会人の知識や経験に触れる
例) 海洋生物の知識や現場での道具の扱い方を学ぶ
3. コミュニティを広げる
例) 研究者や行政関係者・海で働く人とのつながり

東京湾連絡網の課題

1. 正会員（外部団体）と一時参加の学生の違い
2. 事故や保険への加入
3. 交通手段の少なさ(車)

The background of the image is an underwater scene of a coral reef. The water is a deep, dark blue-green color, and the coral is a mix of various shades of green, yellow, and brown. The coral appears to be a hard coral species, possibly a branching or table coral, with a complex, porous structure. The lighting is somewhat dim, creating a sense of depth and mystery. The overall texture is very busy and detailed, with many small, intricate patterns and shapes.

To increase youth
participation in
seaside
environmental
actives